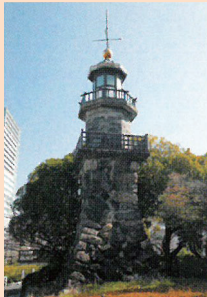


富士見地区スポット

歴史と伝統が息づいた 文教地区 富士見

町会名	名所	歴史
① 九段一丁目町会	●築土神社 ●滝澤馬琴宅跡の井戸	幕府が四谷御門の大地より神田方面に下る傾斜地に沿って、江戸城に勤務する役人のための御用屋敷を作った際、石垣を築き、その石垣が九層にも達したことから九段という通称が生まれた。幾多の変遷を経たのち、町を東西に走る現靖国通り、南北に走る目白通りが拡幅整備され都心部の重要な拠点となった。 
② 九段二丁目町会	●千鳥ヶ淵緑道 ●常燈明台 ●イタリア文化会館東京	江戸時代の武家中心の街から、明治維新後は庶民の街へと変わっていった地域。町会が誕生した当時の街並みは戦後で、まだ木造施設が大半だったが、昭和後期から平成にかけて残っていた料亭や待合がほとんどなくなり、都会の洗練された街並みへ変わった。 
③ 九段三丁目町会	●靖国神社 ●ベニシダレ （三春滝桜の子孫） ●チュニジア共和国大使館	江戸時代の初め、この界隈は番町と呼ばれていた。江戸城を守る大番組の旗本たちの屋敷が城の西側にあったことが由来とされている。番町は一番町から六番町まであり、三番町は現在の九段三丁目と九段四丁目町会にまたがる町だった。三丁目は上三番町と俗称され料亭などが集まって発展していった。 
④ 九段四丁目町会	●二七山不動院跡 ●市谷見附跡	江戸時代から昭和初期まで番町と呼ばれており、現在の靖国通りも当時は幅 8m の細い道だった。下三番町とよばれていたこの地域は、上三番町を支える商人街として発展した。もともと、大正 8 年に氏神である日枝神社の町会神輿を維持していた三番町睦会が関東大震災と太平洋戦争という大きな試練を乗り越えて、現在の九段四丁目町会につながっている。 
⑤ 富士見一丁目町会	●東京ルーテルセンター教会 ●富士見みらい館 （富士見小学校）	旗本が多く住む武家屋敷が立ち並んでいたこの地は、九段坂を登り切った丘の上から富士山の雄姿が眺められたことに由来する。古くから出版社の創業地でもあり、英語の研究社、理科の森北出版、角川書店などがある。公立・私立の各種学校も立ち並び、現在は文教地区の様相を呈している。 

町会名	名所	歴史
⑥ 富士見二丁目町会	●東京大神宮 ●与謝野鉄幹 晶子居住跡 ●牛込見附の枡形石垣 ●外濠公園 ●富士見町教会	江戸城の名残である外濠に面したこの界隈は、武家の屋敷が多く立ち並ぶ地域だった。明治 5 年、九段坂を上ったあたりから眺める富士山の姿が素晴らしいことからつけられた。東京のお伊勢さまともいわれる東京大神宮をはじめ、名のある建物、大学、病院など教育医療機関も充実している。 
⑦ 飯田町町会	●白菊稲荷神社 ●徽章業発祥の地 ●北辰社牧場跡	かつてこのあたりは千代田村と呼ばれるのどかな農村だった。天正 18 年（1590）江戸に入府した家康の案内役が、村の住人飯田喜平衛といい、その名から飯田という地名が生まれた。この地域にあった北辰社牧場には最盛期に乳牛が 50 頭もいた。 
⑧ 飯田橋町会	●アイガーデンエア ●東京区政会館 ●いいだべえ	明治維新後、ようやく「飯田」が正式な町名となり明治 5 年、元飯田町や周辺の武家屋敷などが飯田町一〜六丁目に再編された。明治 14 年飯田町の北側にある江戸城外堀に橋がかけられ「飯田橋」と命名され、その橋の名が町名となった。現在の JR 中央本線の前身である甲武鉄道の始発駅がありターミナル駅として賑わった。 
⑨（準）北の丸町会	●北の丸公園 ●日本武道館 ●科学技術館	北の丸は、徳川三代将軍家光が行った江戸城の大修復の際、本丸北側に増築されたのが始まりとされている。尾張家や代官屋敷などがあり、千姫や春日の局などもこの地に住んでいた。明治 12 年東代官町、西代官町が合併して代官町となり、昭和 42 年北の丸公園となった。平成 30 年富士見地区町会連合会の準会員となる。 
⑩（準）皇居内町会		昭和 31 年富士見地区町会連合会の設立時に準会員となる。